

2013年3月 石川陽平様（東京慈恵会医科大学6年）

本日は、見学をさせていただきありがとうございました。診察を見学させていただいて、患者さんやご家族をどのようにして苦痛の少ない・幸せな方向に向かわせることができるのか、遠矢先生が深く慮っていらっしゃるのがひしひしと伝わって来ました。

医学部で6年間勉強し、大学病院を中心として患者さんを見させていただいた中で湧いた僕の大きなトピックスは「単なる医療行為それだけでは患者の生活を幸せにすることができないのではないか？」というものです。医療は患者さんの体を楽にすることができるけれど、それ自体で患者さんの幸福度を大きく増大させることはできないのではないか、「適切な医療+患者さんを取りまく環境」が患者さんの幸福度になるのでは、と思っています。

脳梗塞疑いの患者さんでも、どうすることがベストか深く考えていらっしゃった先生をみて、入院によって起こる家族の負担や本人の負担を深く考える重要性をひしひしと感じました。

また、医療システムが患者さんに恩恵をもたらしている現場はとても刺激的でした。病院に行って疲れてしまう患者さんも多いと思いますが、待ち時間で疲れるということも大きいと思います。処方箋を薬局に事前に送っておけば患者さんが待たなくて済む、というのは本当にありがたいことだろうと思いました。

突然の見学のお願いにもかかわらず、快くセッティングしていただいた村上さん、受け入れていただいた遠矢先生、本当にありがとうございました。まずは4月から2年間研修をみっちりして、臨床力をあげたいと思います。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。